Audi
Team SHOW APEX

2026年10月28日
Audi Team SHOW APEX

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE

第6戦 スーパー耐久レース in OKAYAMA レースレポート

予選：2026年10月24日（土） Dry
決勝：2026年10月25日（日） Dry



Audi Team SHOW APEXは、ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE (以下:スーパー耐久シリーズ)第6戦 スーパー耐久レースinOKAYAMAに参戦致しました。

◆予　選

季節外れの台風の影響で路面コンディションが難しいレースウィークとなる中で予選が開始された。

Aドライバー西村選手　ほぼドライで挑めた予選アタック。今週のベスタイムを出しクラス2番手で予選を終えた。
Bドライバー宮園選手　宮園選手も今週ベストの走りを見せクラス2番手のタイム。AB合算タイム2位で予選を終えた。
Cドライバー織田選手　決勝ラップをシミュレーションした走りで基準タイムをクリアして予選を終えた。
Dドライバー加賀美選手　日没間近の予選になったがしっかりと基準タイムクリアし予選を終えた。



◆決　勝

　台風と秋雨前線の雨予報で迎えた決勝レースだったが雨雲がそれた影響でGr１のスタート時刻には小雨程度のコンディションとなった。エヴァRT初号機モンスターRS3LMSのスタートドライバーは織田選手が担当することに。路面はドライコンディションだったので通常スタートでレースが始まった。スタート数週で他クラスとの接触で順位を落とすが、その後ペースを取り戻し開始50分を過ぎたタイミングで2番手の宮園選手とドライバーチェンジを行いコースに送り出した。このタイミングでTCRクラスの各チームもピットストップしエヴァRT初号機モンスターRS3LMSはクラス2番手にポジションをアップ。宮園選手はペースも良くスティント終盤にはクラストップと数秒の差まで詰める走りを見せていた。残り60分となる頃、最終ドライバーの西村選手とルーティンのドライバーチェンジを行いピットアウト。各チーム2度目のピットアウトが終わりエヴァRT初号機モンスターRS3LMSはクラストップにポジションをあげ後続とのGAP差が25秒となっていた。順調に周回を重ねる西村選手。今シーズンの初優勝が見えかけた残り40分を切る頃にまさかのスローダウン。なんとか自走しピットまで戻ることは出来たが左フロントの足回りに破損が見つかる。コース復帰しチェッカーを受けるために全力でリペアを試みるメカニック陣だったが無情にもタイムアップ。岡山ラウンドはDNFとなった。

レース公式予選リザルト（A,Bドライバー合算タイム） ST-TCRクラス4台出走

エヴァRT初号機 モンスターRS3 LMS クラス 2位　3'16.439

レース公式決勝リザルト ST-TCR クラス4台出走

エヴァRT初号機 モンスターRS3 LMS （81LAP） DNF



チーム代表　田ヶ原 章蔵
岡山ラウンドは優勝のみを狙って事前に念入りに準備をして参加しました。素晴らしい予選で予定通り事は進み決勝レースも残り４０分までトップを快走！今回こそは、、と思いましたが、まだチームとして届きませんでした。
ですが、若手メンバーを中心に非常に素晴らしい取り組みを誇りに思います！応援して下さる全ての皆さんがあっての事です！応援何時も本当にありがとうございます！いよいよ２０２６年も最終戦の富士！勝ちにいきますので、引き続きの応援を宜しくお願い申し上げます！

チーム監督　澤田 栄宏
シーズンも残り2戦となった岡山ラウンドでしっかり準備しチーム一丸で挑みました。予選も順調でマシンの状態も良かったので期待していた決勝レースでした。序盤トラブルがありながらも作戦通りラストスティントではクラストップを独走していたので残念な結果になりました。次戦がファイナルラウンドになりますがしっかり準備して参ります。引き続き応援よろしくお願いいたします。

Aドライバー　西村 元希
今回の岡山ラウンドは、前戦のオートポリスからマシンのセッティングが決まり、好調を維持した状態で臨むことができました。予選ではクラス2位を獲得し、決勝に向けても十分な手応えを感じていました。チーム一丸となって優勝を目指しましたが、決勝ではトップを走行中、僕が最終スティントを担当していたレース終盤にマシントラブルが発生。残念ながらリタイアとなってしまいました。優勝が見えていただけに、本当に悔しい結果です。気持ちを切り替え、最終戦の富士ラウンドでは必ず勝利をつかめるよう、チーム一丸となって全力で準備していきます！引き続き、皆さまの温かいご支援とご声援をよろしくお願いいたします！

Bドライバー　宮園 拓真
チーム皆のおかげで、車は今シーズン最も走りやすく、タイムが出る状態に仕上がっていました。
練習から順調に走行を重ね、予選では実力で、AB合算でポールを狙える位置のタイムを記録することができ、優勝を目指して決勝に臨みました。そのような状況であっただけに、レース最終盤のマシントラブルで、トップ走行中にリタイア

となってしまったことを、改めて非常に悔しく思います。最終戦は間近に迫っていますので、すぐに気持ちを切り替え、チームメンバー全員で最後は笑ってシーズンを終えられるよう、ドライバーの立場から努力していきます。

Cドライバー　織田 祥平
予選タイムはグリッドに影響しないため、テストから決勝の想定を意識して走行していました。
いままでは、フロントタイヤばかりを使ってしまい、アンダーで何も出来なくなることが多かったですが、今回はセットも決まりリアを使って旋回する動きになり、レースペースにかなり自信がありました。決勝はスタートドライバーを担当させていただきました。テスト走行の時と変わらず、かなりレースペースが良く、途中接触やマシントラブルもありましたが、2番手の車の真後ろまで追いついたところで交代しました。ドライバー交代してからもペースが良く、優勝がほぼ確実というところまでいきましたが、残念ながら残り30分で足回りのトラブルでリタイヤとなってしまいました。結果としてはかなりショックですが、優勝出来る実力が我々にあることが再確認出来たことはとてもポジティブでした。

Dドライバー　加賀美 綾亮
今回はDドライバーとしての役回りを淡々とこなしていくレースウィークでした。
木、金曜日でマシンのセットと予選、決勝想定のシミュレーションをメカチームとも連携して重ね走行をていきました。特に今回は限られた人員での運営だったこともあり、ドライバーとメカニックとの連携を円滑にすることを意識してテストと予選を走行しました。決勝では不運なトラブルでリタイアとなりましたが、決勝のペースが良かったので、最終戦に良い形で繋げていきたいと思います。応援ありがとうございました。

＜本件に関する問い合わせ先＞　Audi Team SHOW APEX　E-mail：sawada@showapex.com　担当：澤田